

ごあんない

山陽教区第七組教化委員長 武田典久

山陽教区第七組は、教化事業のひとつ「被災者支援のつどい」という事業を東日本大震災以後、継続して行っています。今回は、鎌仲ひとみ監督の映画を鑑賞します。公開講座としますので、みなさまのおこしをお待ちしております。

♪「六ヶ所村ラブソニー」「ミツバチの羽音と地球の回転」の鎌仲ひとみ監督最新作!

# 小さき声のカノン

— 選択する人々

Little Voices from Fukushima

Directed by Hitomi Kamanaka

福島—チエルノブイリ

国境を越えて

「被ばく」から子どもを守る

母たちのドキュメンタリー

1986.4.26  
Chernobyl

2011.3.11  
Fukushima

希望は「ハル」にある

「保養」  
ってなに?



監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 製作 ぶんぶんフィルムズ

www.kamanaka.com/canon 2014年 / カラー / デジタル / 119分 / 配給: ぶんぶんフィルムズ



# 子どもたちに **いま** 必要な「保養」とは？



国境を越えてつながっていく、「子どもたちを守りたい」という思い。

福島原発事故後、子どもを被ばくから守るため避難を選択する人もいれば、福島で暮らすと決めた人もいます。福島で暮らすと決めたお母さんたちは、泣いてばかりでは解決しないと、子どもを被ばくから守るため自ら新しい選択肢を作り出してこうと動きだす。

一方、チェルノブイリ原発事故後のベラルーシでは子どもたちの被ばくを軽減する「保養」という取り組みが29年経った今でも続けられている。その具体的な内容と驚くべき効果とは？

事故から4年、日本でも被ばくを軽減する新しいステージが始まった。放射能についての危機感がしだいに薄れ、事故の風化がささやかれる今だからこそ、誰もが観るべきドキュメンタリー。



同じように悩み、迷ってきた母親の一人です。現実には厳しいけれど、お母さんたちの連帯から生まれる希望が描かれていることに、励まされました。この映画を通して、さらなる連帯が広がることを願っています。

俵万智さん 歌人



## 小さき声のキャン — 選択する人々

Little Voices from Fukushima

出演：福島県二本松市のお母さんたちほか  
監督：鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 音楽：Shing02 撮影：岩田まきこ 録音：河崎宏一 編集：青木亮 助監督：宮島裕  
宣伝：梶谷有里 村井卓実 製作・配給：ぶんぶんフィルムズ 2014年ノカラー/デジタル/119分 © ぶんぶんフィルムズ

[www.kamanaka.com/canon](http://www.kamanaka.com/canon)

お問い合わせ 「小さき声のキャン」プロジェクト TEL 03-6379-3938 MAIL [movie@kamanaka.com](mailto:movie@kamanaka.com)



日時 2018年 4月19日(木) 13時～正信偈・挨拶  
上映 13時半～15時半

場所 真宗大谷派真行寺 (兵庫県姫路市砥堀 943)

主催 真宗大谷派山陽教区第七組 被災者支援の集い

【問い合わせ】後藤 TEL 090-3611-0162 メール [kouenji\\_dayo@nifty.com](mailto:kouenji_dayo@nifty.com)



※ はじめての方も、どうぞおこしください。